

# DX MONGOLIA

## モンゴルDX促進協会

モンゴルにおけるDX促進活動・人材育成・専門家のネットワーク構築を目的とする

- DXCUPの成果とスポンサー得点
- DXMongoliaの教育事業紹介

トゥグ©2023東京

[dxmongolia.org](https://dxmongolia.org)

[fb.com/dxmongolia](https://fb.com/dxmongolia)

[tugu@dxmongolia.org](mailto:tugu@dxmongolia.org)



**Ts.ナンディンバートルPhD**  
会長  
DX IoTと工学委員会会長  
SLI社の創業CTO

電通大学情報工学科学学位  
スエーデンのMälardalen大学コン  
ピュータ工学修士・博士



**コアチーム**

**B.トゥグルドゥル MA**  
副会長・事務局長  
SLI・Tuguldur Ventures・  
Aerobotek社の創業CEO

東京都大学大政治学科学学位  
デジハリ大学院プロデューサー修士  
モンゴルコーセン技術移転センター長



**E.バトバヤル EMBA**  
理事  
DX行政委員会会長  
SLI・ZES社のCFO

モンゴル財経大学経営学位  
ハーバード大学エグゼクティブMBA  
モンゴル金融省・農業省・証券取引所・  
在米モンゴル大使館の元金融部長・CFO

**研究委員会**



**J.バトボルドPhD**  
理事  
DXビジネス委員会

旧ソ連ウラジオストク大学機械工  
学修士・博士  
Engineersoft社の創業CEO  
DXビジネスコーチ



**S.オトゴンツェツ  
エグPhD**  
理事、DX教育委員  
会長、

ソール大学電子学科修士  
熊本大学コンピュータ工学博士  
国立大学オンラインセンター長  
国立大学電子工学准教授



**D.ゾルザヤPhD**  
DX AI委員会会長

伊トレント大学情報工学博士  
米MITシティラボ研究委員  
国立科学技術大情報学科准教授  
イルクーツク工学大学客員教授



**Z.アマル**  
DX情報セキュ  
リティ委員会  
会長

工学院大学情報学科学  
日本LAC社イノベーション開発  
グループ部長・AI開発チームリ  
ーダー、AWS/Azure認定

**アドバイザー**



**山口耕司**  
和歌山大客員教授  
オービタルエンジ  
ニアリング社長

次世代宇宙システム技術研究組  
合理事長・安部首長から「第3  
回宇宙開発利用大賞」受領



**D.ヤンジャー  
PhD**  
アインドホーベン  
科学技術大准教授

アインドホーベン科学技術大学  
コンピュータ工学博士・PDEng  
Softwareプログラム部長



**美濃英俊PhD**  
名古屋大理学博士  
山梨大学 名誉教授

並列処理アルゴリズム、情報セ  
キュリティ、小電力無線通信の  
応用研究に従事



**森善隆**  
コグラフ株式  
修士

一般社団法人五反田バレエ理事

2022年度にAI技術を用いたビジネスプランコンテストをDcompとして高校生から学部生を対象に開催  
合計26チーム参加し高校生のチームが優勝し、モンゴル高専と科技大高専が2と3位に入選

- 後援：JDLA、高専機構
- メインスポンサー：KDDI、DDAM

ЕРӨНХИЙ ЗОХИОН  
БАЙГУУЛАГЧ



БОЛОВСРОЛ,  
ШИНЖЛЭХ УХААНЫ  
ЯАМ



ХАМТРАН ЗОХИОН  
БАЙГУУЛАГЧ, ДЭМЖИГЧ



# DEEP LEARNING COMPETITION MONGOLIA 2022

ЭЦСИЙН ШАЛГАРУУЛАЛТ **2.24** 15:30 @ WHITE ROCK CENTER

Online Livestream in collaboration with Japan Festival in Mongolia

ШИЛДЭГ САНАА  
ГҮН СУРГАЛТ  
ИНЖЕНЕРЧЛЭЛ



БИЗНЕС  
ШИЙДЭЛ

**13 БАГ** ШАГНАЛЫН САН **10,000,000 ₮**  
I БАЙР 6 САЯ II БАЙР 3 САЯ III БАЙР 1 САЯ

 [fb.com/dcompmon](https://fb.com/dcompmon)

ИВЭЭН ТЭТГЭГЧ

Tomorrow, Together



usp lab.



mobicom

2023年度はAIのみならずDX技術を用いたビジネスプランコンテストに分野や広げ、高専生から学部生を対象に開催  
合計40チーム参加の上、初めて日本から2チームがファイナルに参戦

□ **主催**：モンゴル教育科学省、DX Mongolia **後援**：JDLA、高専機、五反田バレー

□ **スポンサー**：Mobicom、And Global、Golomt銀行、DDAM、KITE、USP-Lab、NashaTech



## 優勝、モンゴル高専のWWSYチーム

節水スマートジャグジー

水道管に使用水の量を図るセンサーとそのデータを携帯アプリに上げるIoTデバイスの開発

## 2位、科技ICT学校のKhangaridiチーム

AIコールセンター

ボタン操作の代わりに音声でやり取りするシステム  
デモの際に病院でのアポ時間を口で伝え、開発中のシステムに登録、ChatGPTから国内スピーチ文字変換  
ChimegeアプリとCallPro既存サービス使用

## 3位、科技大高専のSFチーム

安全服の着用をカメラとAI画像認識による鑑定

【DXCup 2024】今年の8月応募スタート、12月ファイナル  
【スポンサー様のメリット】

人材採用、モンゴル国営放送・FBプロモーション、  
審査員・メンターとしてのご参加が可能

 [fb.com/dxmongolia](https://fb.com/dxmongolia) [tugu@dxmongolia.org](mailto:tugu@dxmongolia.org)



ご質問: 写真の共通点は何でしょうか？



# 【DX Supernova】モンゴル初のユニコーン企業の創出

## 3. DX スーパーノヴァ

- 独自のカリキュラムとメンターネットワーク (ブランド型教育・PBL・日本語N3レベル・特殊な企業講座)
- 大学との共同実施 (国立大、科学大、技術工科大IET)
- 企業との共同実施
- ❖ 奨学金 60万円 x 3年 = 180万円 (月給30万円として、その半分支給した場合は年間180万円節約分で元が取れる・中途採用費用)
- ❖ 企業研修1年間+卒業後、5年間働く契約

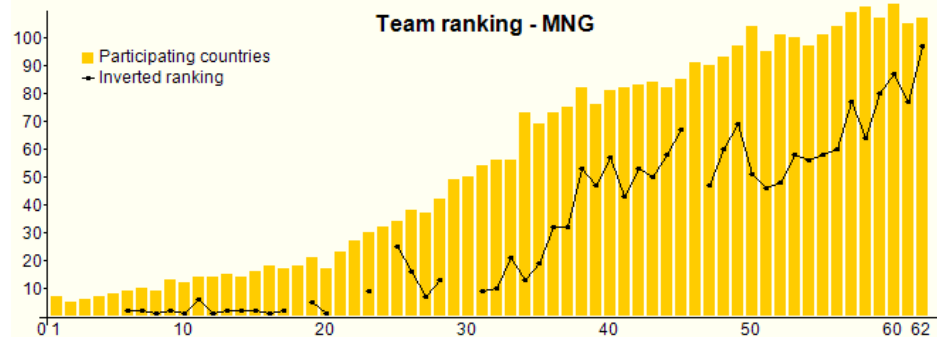


## INTERNATIONAL MATHEMATICAL OLYMPIAD

IMO 2021 IMO 2022

◀ MONGOLIA ▶

TEAM RESULTS • INDIVIDUAL RESULTS • HALL OF FAME



Year	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10
JPN	25	18	13	13	6	10	22	5	11	17	12	7
MNG	11	29	26	28	48	33	45	44	42	43	54	50

<https://www.imo-official.org/results.aspx>

Year	Team size			P1	P2	P3	P4	P5	P6	Total	Rank		Awards			
	All	M	F								Abs.	Rel.	G	S	B	HM
2022	6	6	0	42	38	3	42	32	5	162	29	72.82%	0	2	3	1
2021	6	6	0	42	1	3	42	28	14	130	11	90.57%	2	2	2	0
2020	6	6	0	42	17	14	31	28	3	135	29	73.08%	1	2	1	2
2019	6	4	2	41	27	6	35	32	0	141	26	77.48%	1	1	3	1
2018	6	6		42	28	0	42	18	2	132	28	74.53%	0	1	5	0
2017	6	6		37	12	0	42	1	1	93	48	57.27%	0	1	2	3
2016	6	6		42	22	0	42	8	1	115	33	70.37%	0	2	2	2
2015	6	6		23	4	2	35	10	0	74	45	57.28%	0	0	2	4
2014	6	6		39	12	0	42	9	0	102	44	57.00%	0	0	5	1
2013	6	5	1	18	16	2	42	6	0	84	42	57.29%	0	0	3	3
2012	6	5	1	42	13	0	23	11	1	90	43	57.58%	1	0	2	3
2011	6	5	1	40	0	4	10	12	3	69	54	47.00%	0	0	2	3
2010	6	4	2	17	14	0	42	6	0	79	50	47.87%	0	0	2	4
2009	6	6		37	16	1	14	4	0	72	54	48.54%	0	0	3	1
2008	6	5	1	39	24	1	28	14	0	106	29	70.83%	0	2	1	2
2007	6	5	1	16	17	0	42	13	0	88	34	64.13%	0	2	1	3
2006	6	6		42	4	8	26	0	0	80	44	51.69%	0	0	2	4
2004	6			36	23	8	35	18	15	135	19	78.57%	0	3	2	0
2003	6			30	12	0	38	10	3	93	25	70.37%	0	1	3	1